

創造

JA いけだ
CREATION



CONTENTS

- * 令和5年の新春を迎えて
- * 令和5年の年頭にあたり
- * 21NEWS アラカルト
- * 今月のキラメキ職員
- * 「食料安全保障」
って何ですか？
- * JA共済交通安全2022
ポスターコンクール
- * 畜産部通信
- * フルーツパラダイス
- * 石田邦雄の農業拾い読み
- * 月間行事予定
- * 今月の1枚
- * 理事会の動き
- * 編集後記

2023.

1
JANUARY

No.157



令和5年の新春を迎えて

十勝池田町農業協同組合

代表理事組合長 鈴木 雅 博

令和5年の輝かしい新年を迎え、組合員各位はじめ、ご家族の皆様にご挨拶と謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、日頃より農協事業にご理解とご協力を頂いております事に重ねて御礼申し上げます。

長引くコロナ禍のなか、営農に努力されながら各関係団体や地域の行事も遂行されておられます事に敬意を表する次第です。

昨年、畜産では和牛のオリンピックと言われる全国和牛能力共進会が鹿児島県で開催されましたが、2,500キロも距離の離れた池田町の出品牛が上位入賞で活躍できた事は、日々の管理と関係者の協力が成果をもたらした象徴であります。5年後の北海道大会に向けてさらなる飛躍が期待されます。

日本の食料基地と言われる北海道十勝は、近年、農業生産が拡大傾向にありました。しかし、コロナ感染対策下での活動自粛による乳製品の消費低迷、ウクライナ侵攻や32年ぶりの円安に影響され、肥料や飼料の高騰と生産資材や農業機械の値上がりなど、逆風が吹いた年でありました。食料自給率の低さは指摘されておりましたが、農畜産物の生産現場でも原材料を海外に依存している事が課題となりました。

急激な厳しい状況を単年度で解決する事は、難しい問題であります。コロナの収束も期待されつつ日常生活が戻り、インバウンドなど消費活動を取り戻す気配を感じます。農業生産が安定的に出来る体制が整うまで、リスクを最小限にする努力の時と思われます。

「自助」、「共助」、「公助」という言葉があります。

「自助」では、自分の経営を守る時であります。経営の収支を一層慎重に、適期の営農活動と経費の見直しと工夫の実践が大切であります。

「共助」は、相互扶助の農協として協同活動の存在意義を再確認し、発揮する時であります。組合員の負託に応え、地域の皆様に信頼され頼りにされる農協として一丸となり取り組む時であります。

「公助」は、食料安全保障と20年ぶりの農業基本法の見直しが行われます。国の政策だけでは解決出来ぬ問題も有りますが、新たな農業の位置付けに期待をしたいと思います。

今、私達に一番大切な事は、激変期のなか、恐る事なく営農意欲を失わない事であります。開拓の先人先達から続く農業の歴史は、いつの時代もどの時代も、その時々、その時々の困難を乗り越えて来たのが、農業の歴史であります。このような時こそ皆が一丸となり立ち向かう為にも、組合員各位には農協事業への積極的参加とご指導ご協力をお願い申し上げます。

今年が災害も無く穏やかな年となり、皆様のご健勝であります事をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。





令和5年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ地域によって少雨の影響が見られたものの、その後は順調に推移しておりました。ただ、6月の降雹、8月の記録的な大雨、9月の台風により、一部地域、作物によっては、生育に大きな影響が出たものがありましたが、収穫作業は総じて順調に進み、天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができました。

しかしながら、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図って参ります。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

JAグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んで参ります。

今年は、第30回JA北海道大会の実践2年度目となります。

決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必要があります。

また、消費者に対しては、JAグループが提唱する、自国の国民が消費する食料はできるだけ自国で生産するという「国消国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となってしっかりと取り組んで参りましょう。

結びになりますが、本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。この謂われにあやかり、本年が豊穰の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

畜産部

北海道あか牛振興協議会

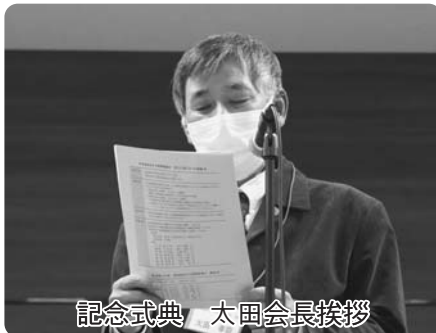
設立20周年記念式典 及び 第21回北海道あか牛枝肉共励会が盛大に開催されました



11月13日、札幌市にあるTKPガーデンシティPREMIUM札幌大通において、北海道あか牛振興協議会設立20周年記念式典が開催されました。

北海道あか牛振興協議会会員及び関係機関が一堂に会し、設立20周年の節目を祝いました。

函館地区と池田町、関係者併せて、約100名程の参加者で式典は盛大に開催され、功労者表彰として、元酪農畜産協会の栗生氏、(社)全日本あか毛和牛協会の緒方氏、帯広畜産大学口田教授の3名が表彰されました。また、穴見盛雄全日本あか毛和牛協会会長の旭日小綬章受章お祝いも行われました。参加者はそれぞれ、設立時の思い出話や、昨今の畜産情勢、情報交換等を行い大変盛り上がりしました。



記念式典 太田会長挨拶



20周年記念式典

11月14日には第21回北海道あか牛枝肉共励会が行われました。今回の枝肉共励会は、JA新はこだて8頭、神内ファーム1頭、当JA8頭の合計17頭の参加で行いました。

最優秀賞にはJA新はこだての岡山さんの出品牛（BMS 8 : A 5）が選ばれました。当JAでは太田孝臣さんの出品牛（BMS 6 : A 4）が優秀賞2席に選ばれました。

全体的には、JA新はこだての出品牛はBMSが高い傾向にはありましたが、皮下脂肪が厚いものも散見され最優秀賞、優秀賞1席ともに皮下脂肪5cmを超えるなど課題もあるように感じました。

当JA出品牛は、BMSについては新はこだてより低いものの、枝肉重量も大きくボリュームのある枝肉が揃っており、中には過去最大とも言える枝肉重量67.7kgとなる枝肉も出品されるなど、あか牛らしい枝肉が多かったと感じました。

2日間を通じ、良きライバルである新はこだて農協の出品者の皆様との交流や、情報交換を行い、実りある2日間となりました。（記事・畜産部 部長 長井 勉）



畜産部

池田町和牛生産
改良組合あか牛部会
いけだ牛即売会

あか牛部会生産者
(前列右から) 神谷雅之部会長、小原秀樹さん、市川豊さん
(後列右から) 太田一旗さん、朝川知輝さん



12月22日、標記即売会をセコマ池田店にて開催しました。

今回は小原秀樹さん(千代田)生産のめす牛1頭分をステーキ用やすき焼き用でご用意しました。

今年度は3年ぶりに当即売会を4回開催することができ、また多くの方に足を運んでいただきました事、深く感謝申し上げます。今後も地域の皆様に池田町産のお肉をお届けする機会を増やせるよう、畜産部一同取り組んでまいります。

(記事・畜産部畜産課 小野寺絵里)

青年部

青年部十勝大会

11月25日にホテル日航ノースランドにて、第47回JA十勝青年部大会が開催され当青年部からは11名の部員が参加しました。

今年は3年ぶりとなる実開催となり、コロナ禍を鑑みて分科会・アームレスリング・懇親会を縮小した内容となりました。会場には多くの盟友が集まり久しぶりの再会や情報共有など行い、それぞれが有意義な時間を過ごせたと思います。

今回の「活動実績発表」と「30秒CM」では熱い思いを込めて発表に取り組みました。活動実績発表では梅村部長が旧池田青年部・旧高島青年部との合併に至るまでの経緯や積立研修・食育事業などの内容について発表をし、より深く活動を知ってもらえたと思います。

また、梅村部長が内容をしっかりと暗記し、堂々とした発表だったこともあり、見事に優秀賞を受賞することが出来ました。30秒CMでは、残念ながら入選することは出来ませんでしたが、会場内が笑顔になれるCMを作れたと思います。

来年の十勝大会は、より多くの部員に参加していただき盟友との繋がりを広げていけたらと思います。

(記事・青年部書記長 丸山 光)



梅村部長による発表

青 年 部

全 道 大 会

12月8～9日に札幌で全道JA青年部大会が行われました。3年ぶりとなる実地開催で全道から盟友が600人ほど集まりました。十勝からは先日行われました十勝大会にて青年部活動実績発表で最優秀賞を受賞した新得、30秒CMで最優秀賞を受賞した陸別、純農ボーイで最優秀賞を受賞した芽室を応援するべく部長と副部長2人、若手部員1人の計4人で参加しました。結果は新得は最優秀賞、陸別は農村風景部門入賞、芽室は純農ボーイ最優秀賞という大変輝かしい結果となり十勝旋風を巻き起こした大会になったと思います。その他にも全国農協青年部組織協議会参与の柿島洋一氏によるJAの機能と青年組織という講演が行われ、盟友は力のこもった熱い言葉にとっても感銘を受けていました。

600人という大人数と交流を深めたこの2日間はとても濃密でかけがえのない経験になり、これからの仕事の糧にしたいと思いました。

(記事・青年部 部長 梅村信輔)



土壌分析結果の活用方法とTAFシステムを用いた施肥設計について講義をしていただきました。また、土壌分析作業の風景の見学や、化学肥料の高騰対策として、使用量低減のために堆肥を使う際の有効性や注意点についても併せてお話いただきました。

講義終了後には部員たちから多くの質問が出ており、有意義な時間になったのではないかと思います。

(記事・営農部営農企画課 高野聖史)

青 年 部

冬季研修会
開催！

12月15日十勝農協連農産化学研究所にて冬季研修を行いました。

講師を農産化学研究所の佐藤氏と農産課の小川氏に依頼し、主に



講師の佐藤氏

女 性 部

冬期レクレーション
開催！

12月16日、北部コミセンにて「冬期レクレーション」を開催いたしました。今回は講師に花のアトリエ ラ ナチュラル 畑中京子先生をお招きし、「クリスマスツリー」作りを行いました。久々の行事の集まりに皆さん話に花を咲かせながら交流しました。始めはどのようにしようかと悩んでいましたが、先生の助言をもらいながら進めていくと、そのうち順調に手が動き出し、どんどん素敵になっていき、一人ひとり違った個性のある作品に仕上がりました。皆さんお家のどこに飾ろうかな～なんて思いながら作製していたのではないのでしょうか。

半日という短い時間でしたが楽しい作品づくりとなりました。（記事・女性部 副部長 斎藤実子）



女 性 部

十勝地区
女性協議会研修会

12月7～8日、十勝地区女性協議会主催の研修会に参加いたしました。例年は支部長のみなさんと参加している行事でありましたが、コロナ禍により人数制限がある中での開催となり、役員の他に書記、監事も参加いたしました。開会挨拶では、平会長による国消国産への熱い思いが語られ研修会がスタートしました。1日目はSDGsに関する研修で、SDGsの基礎と地球温暖化など今後の課題についての講話を聞き、知識を深め、SDGsのかかるたを行いました。2日目は防災に関する研修が行われ、近年の気候変動や災害対策などについて勉強しました。制限がある中で出来ることを企画して頂き、良い研修会となったと思います。



SDGs研修会

研修会のように



（記事・営農部営農企画課 鎌田初美）

JA TOKACHI IKEDA 7

フレッシュミズ

フレミズ冬期研修会・忘年会開催！

12月12日、冬期研修会・忘年会を開催いたしました。

冬期研修会では講師に畑中京子先生をお招きし、この時期限定の「クリスマスリース」作り教えて頂き、みなさんそれぞれ思い思いのリースを完成させました。何かを作るというのは自分だけではなかなか作らないもので、会員に人気のある研修内容だと思います。これからもどんどん色んなもの作りをしていきたいです。



ゆたかにて忘年会



忘年会では、「お食事処 ゆたか」にて、美味しい食事を楽しみ、いつもと趣向を変えてじゃんけん大会を開催しました。上位3名が景品をお持ち帰りしました。

数年ぶりの開催に笑顔があふれ、楽しい研修会と忘年会になりました。

(記事・フレッシュミズ会長 市川好美)

こだま会

忘年会 開催！

12月6～7日に3年ぶりとなる「忘年会」を開催しました。毎年恒例となっていた温泉一泊も久しぶりに行うことができたので、新鮮な気持ちで参加して頂けたと思います。

今回は十勝川温泉 観月苑へ宿泊しました。最近リニューアルオープンされたとのことで、お部屋も新しく素敵な和洋室で、温泉も露天風呂が広々とした印象でした。夕食会場では黙食を意識しながら懇親を深め、売店で購入した景品が当たるビンゴ大会を行い交流することができました。

(記事・営農部営農企画課 鎌田初美)



(記事・営農部営農企画課 鎌田初美)

女性部

手芸サークル 例会開催！

12月10日に第1回の例会を行い、講師に浜名かおり先生をお招きし、「ペーパーパークイリング」を作製しました。紙で金魚を作ったり、それぞれオリジナルの可愛い写真立てが出来上がりました。次回は「エコクラフト」を予定しています。

女性部

食品加工サークル 例会開催！

12月12日に第1回の例会を行い、今回は「トマトケチャップ」「豚丼のタレ」を作りました。夏に採れたトマトをみなさんで持ち寄って作るトマトケチャップは毎年人で1回目の例会で行っています。昼食には作り立ての豚丼のタレを使用した豚丼を食べて、交流しました。



(記事・営農部営農企画課 鎌田初美)

女性部

習字サークル 例会開催！

12月14日に第1回の例会を行い、講師に東台地区 野上真耶先生のご指導の下、鉛筆で氏名を書く練習や筆でお手本に習ったりとそれぞれ自由に練習しました。書いた字を添削していただいていた書き直したり、皆さんでお話をしながら楽しんでおりました。



(記事・営農部営農企画課 鎌田初美)

心理的安全性向上委員会

人事考課制度・目標管理制度の構築に向けて ～ 第6回 心理的安全性向上委員会を開催 ～

11月25日、第6回目となる心理的安全性向上委員会を開催し、JA北海道中央会総合支援部より高橋審議役、廣部主幹、帯広支所より大関主幹にオブザーバーとしてサポートして頂きました。

今回の会議では、「新人事考課表・自己申告書・チャレンジ目標実践シート」について、前回の委員会にて検討した内容を基にJA北海道中央会にて再案を作成して頂き、その内容を基にグループワークを行い再検討をしました。

また、「新退職金制度（案）」についても説明して頂きました。

次回の委員会では、「新人事考課表・自己申告書・チャレンジ目標実践シート」の完成を目指して、取り組んで参ります。



心理的安全性の高い職場を目指して ～ 第4回 管理職研修を開催 ～



心理的安全性向上委員会に引き続き、JA北海道中央会総合支援部高橋審議役に講師となって頂き、当JAの管理職（常務・参事・部長・次長・課長）を対象に研修会を開催しました。今回は、来年度より実施していく1 ON 1ミーティングについて説明を受けました。研修では、1 ON 1ミーティングの取り進め方について、例題を基に会話の各ポイントや注意点について解説して頂きました。最後は実際に演習として、

参加者がそれぞれ部下と上司に分かれて、自身のことについて1 ON 1を実践しました。傾聴の重要性や部下に気づきを与える話しの進め方の難しさを、改めて実感致しました。

今後も毎月管理職研修を開催し、管理職として求められるスキルの取得・向上に努めて参ります。

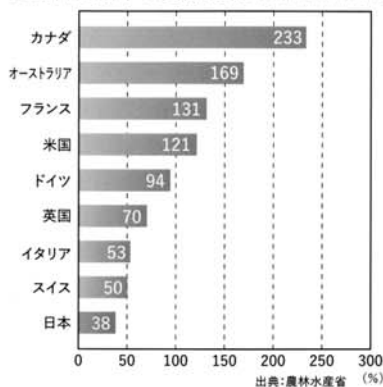
（記事・心理的安全性向上委員長 杉山淳史）

日本の食料自給率38%、先進国で最低水準

Q4 日本の食料自給率が低い理由は？

A4 食料自給率とは、日本で消費される食料のうち、どのくらい国内で生産されているかを示す指標です。食料に含まれるエネルギー（熱量）の量で計算するカロリーベースで2021年度の食料自給率は38%、つまり62%を海外に頼っています。先進国の中では非常に低い水準です。食生活の

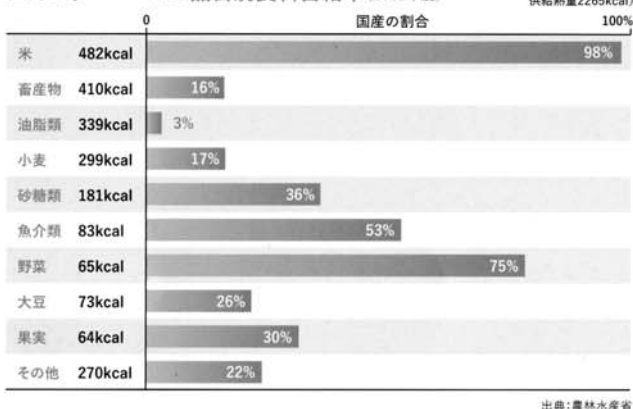
■食料自給率の国際比較（2018年※日本は2021年度）



■日本の食料自給率の推移



■カロリーベースの品目別食料自給率（2021年度）



Q5 食料の輸入が止まったらどうなるの？

A5 農林水産省のウェブサイトでは、食料輸入ストップ時に、国内生産だけで国民1人1日2020kcalのカロリー供給が可能かメニューを紹介しています。それによると、朝食のおかずは粉吹き芋とぬか漬。昼食の主食は焼き芋とふかし芋、夕食のおかずは焼き魚一切れ。牛乳は6日に1杯、卵は7日に1個、肉は9日に1食だけ。こう

西洋化により米の消費量が減り、パン食や肉・油脂を使った食事が増えたことが大きいといわれています。農地面積の狭い日本では家畜の飼料となるトウモロコシや大豆などを十分に生産できず、食肉や飼料の輸入が増えていったことも自給率低下につながった要因の一つです。

Q6 食料自給率向上のために私たちができることは？

A6 政府はカロリーベースの食料自給率を2030年度に45%まで引き上げる目標を掲げていますが、この達成に向けては、消費者の立場でもできることがあります。

まずは「国産産」を大切にすることです。スーパーなどでの買い物では地元産の農産物を選ぶことを習慣にしましょう。地元の農産物の積極的な購入は、食料自給率の向上に貢献するだけでなく、地元農家の支援を通じた安定的な食料供給の確立につながるからです。

次に大切なのが食品ロスの削減です。カロリーベースの食料自給率の基礎となる熱供給総量（国民に供給される熱量）には、食品ロス分も加味され

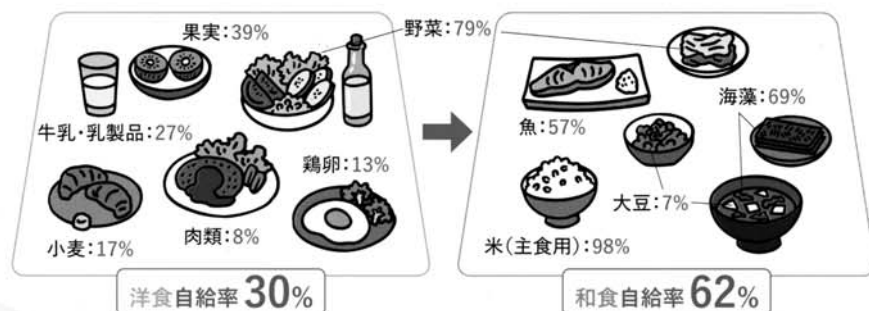
鈴木教授のワンポイント解説

種子の輸入が止まれば食料危機に

食料自給率38%という数字には、海外産の飼料で育てられた畜産物は除かれています。野菜の種子は海外依存でもよいことになっています。ところが、異常気象や国際情勢の変動などで、農作物や生産資材だけでなく、種子までも輸入されなくなると、日本国内の野菜の自給率は75%ではなく10%以下になると予想されています。そのために「在来種」「固定種」と呼ばれる野菜の種を地域で採取・保存していくことは、今後食料安全保障を考える上で重要なテーマになっていくと思われます。

和食と洋食でこんなに違う食料自給率

食卓で和食メニューを増やすだけで、食料自給率アップできます！



るので、こうした活動も食料自給率の向上に効果的です。日本の食品ロスの約半分は家庭から生まれています。買い過ぎや食べ残しをなくすことはもちろん、野菜や果物の皮のむき過ぎにも気を付けましょう。ロスになりそうな食材と消費者をマッチングさせるフードシェアリングアプリの利用もおすすめです。

出典：農林水産省「食料供給表」
注1：数値は令和3年度（概算値）
注2：畜産物（牛乳・乳製品、肉類及鶏卵）については、飼料自給率を考慮

日本の食糧が大ピンチ!?

「食料安全保障」って何ですか？

今、世界的な問題となっている食料価格の上昇。日本国内でも小麦粉、パン、食用油、加工肉などの値上げが相次いでいます。こうした中で「食料安全保障」という言葉を耳にするようになりました。実はこれ、日本の食生活を守る上でとても大切なキーワードなのです。

※本記事は、鈴木教授への取材をベースに政府などの公式見解を総合して編集部で整理・作成したものです。

食料安全保障の専門家に聞きました！

一般財団法人食料安全保障推進財団
https://www.foodscjapan.org/

理事長 鈴木宣弘さん

東京大学大学院教授、農業経済学の第一人者として安全な食を支える農林水産業の振興と地域の活性化に取り組む。



食料不安が増大！その理由とは

Q1 食料安全保障について教えてください

A1 食料安全保障とは、全ての国民が安全で栄養価の高い食料を将来にわたって合理的な価格で入手できるようにすることです。これは国の食料政策の基本理念だといえます。海外からの食料輸入がストップするなど、想定外の事態に対して日頃から備えておくことも、食料安全保障の大切な考え方の一つです。国連食糧農業機関（FAO）は、食料安全保障を構成する要素として左記の4点を挙げています。

Q2 食料を巡る世界の現状は？

A2 今、世界の食料需要は年々伸びています。その理由として「アフリカやアジアでの人口急増」「中国などの新興国の食料需要の拡大」などが挙げられます。この一方で、異常気象がもたらす干ばつや洪水などによる農作物の不作が発生するなど、世界の食料生産体制は常に不安定な状況にあります。

Q3 海外の食料供給体制は大丈夫？

A3 世界的な食料不安を背景に、20カ国以上（2022年6月時点）が自国の食料供給確保を優先する輸出規制を打ち出す事態に発展しています。「自由貿易の番人」といわれる世界貿易機関（WTO）は6月に開催された閣僚会議で、輸出規制に歯止めをかけることに合意しましたが、輸出規制が解除されるかどうか今後の各国の対応が注目されています。

食料安全保障を構成する4つの要素

- Food Availability (供給面)**
適切な品質の食料が十分な量供給されているか？
- Food Access (アクセス面)**
栄養のある食料を入手するための合法的、政治的、経済的、社会的な権利を持ちうるか？
- Utilization (利用面)**
安全で栄養価の高い食料を摂取できるか？
- Stability (安定面)**
いつ何時でも適切な食料を入手できる安定性があるか？

出典：FAO Policy Brief (June 2006, Issue 2)

鈴木教授のワンポイント解説

合理的な価格であることが重要

食料安全保障の中で注意したいのは「合理的な価格」という点です。例えば、スーパーの特売などで値段の安い海外産ばかりでなく、国内産の安心・安全な農産物・畜産物を合理的な価格で購入することは非常に大切だといえるでしょう。ひいてはそれが日本の食の安全を保ち、家族の健康を守ってくれるのです。

鈴木教授のワンポイント解説

世界の食料不安が日本に影響

食べ物を自国で賄えるようにしておくことが大切です。世界では食料不安が高まり、小麦やトウモロコシ、大豆などの穀物価格は高止まりしています。また、国際状況の悪化を受けて日本国内でも飼料や肥料など農業生産資材が高騰しています。しかし、コスト上昇分をなかなか価格に転嫁できないため、日本の農家はますます厳しい状況に追い込まれているのです。

食料不安の背景



出規制が解除されるかどうか今後の各国の対応が注目されています。

JA共済 全道小・中学校 交通安全2022 ポスターコンクール 入賞作品のご紹介

銀賞



池田町立池田中学校 1年
三寺芽叶さん

佳作

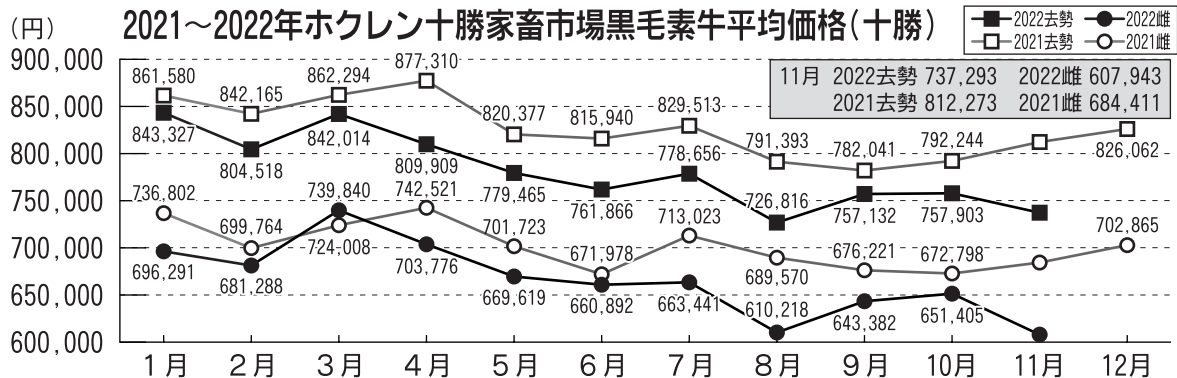


池田町立池田中学校 1年
谷みちるさん



畜産部通信

畜産部
畜産課



11月黒毛素牛出荷区分別成績

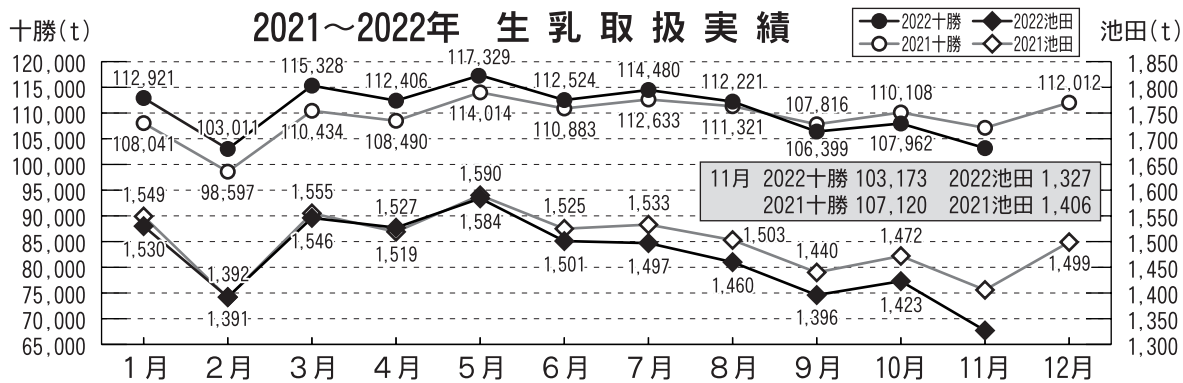
【金額(円)】

		取引頭数	平均価格(税込)	前月価格比
去勢	十勝	1,002	737,293	-20,610
	池田	33	709,133	-55,657
雌	十勝	795	607,943	-43,462
	池田	28	561,825	-87,313

11月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	規格	平均単価(税抜)
5日 19日 26日	黒毛去勢	A-5	2,438
		A-4	2,174
		A-3	1,978
	黒毛雌	A-5	2,379
		A-4	2,099
		A-3	1,973
	F1去勢	B-4	1,460
		B-3	1,198
F1雌	F1雌	B-4	1,399
		B-3	1,310



11月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
2日	乳牛初妊	420	473,560
	乳牛経産	49	294,957
24日	乳牛初妊	627	484,704
	乳牛経産	127	255,824

11月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)	前月比
乳牛オス初生	27,850	+2,959
F1オス初生	100,942	+161
F1メス初生	49,923	+2,663
廃用牛	125,909	-20,730

野菜ソムリエ上級プロ

kAORUの

フルーツ
パラダイス

イラスト：小林裕美子

キンカン

～皮ごと味わう小さなかんきつ～

キンカンのプロフィール

【分類】ミカン科キンカン属

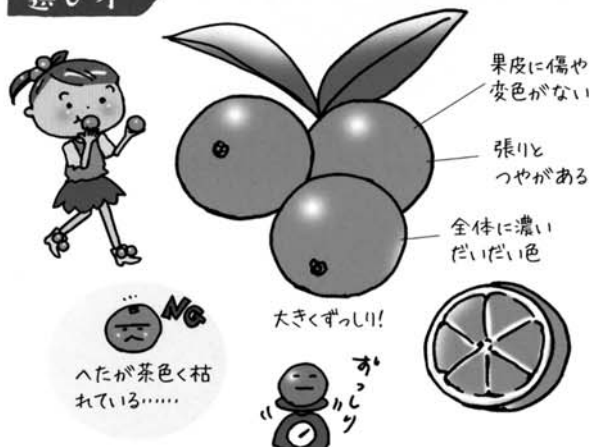
【原産地】中国

【おいしい時期(旬)】冬(1～3月)

【主な栄養成分】ビタミンC、ビタミンE、
カルシウム、ペクチン、ヘスペリジン、
ペーダクリプトキサンチン、テルペン、
クエン酸など

解説：kAORU

選び方



楽しみ方・食べ方のコツ

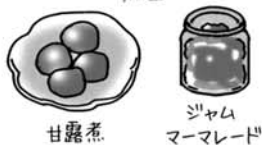


2、3回ゆで「二ぼし」してから加工すると苦味や雑味が取れておいしい

デザートに



加工



その他



保存方法

乾燥しないようにラップで包むか保存袋などに入れ、冷暗所または冷蔵庫の野菜室へ



日持ち

冷暗所の場合は1週間、冷蔵庫の野菜室で2週間程度

長期保存

砂糖漬け、
甘露煮など

キンカンのチカラ

ビタミンC

免疫力向上、風邪予防、肌荒れ改善に



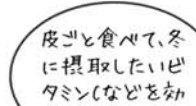
クエン酸

疲労回復や筋肉痛の軽減



ビタミンE

血行促進、冷え性改善、老化予防、生活習慣病予防

テルペン
植物に含まれる精油成分のリラクゼーション効果や血圧の抑制に

カルシウム

骨や歯の強化、骨粗しょう症予防

ペーダクリプトキサンチン
根力や消化器官の健康維持やがん予防の老化予防ペクチン
皮や果肉の袋に多い、便秘改善にヘスペリジン
高血圧や動脈硬化の予防

キンカンのいろいろ

ネイハキンカン(ニンボウキンカン・寧波金柑)

日本で主に栽培の皮が薄く食べやすい代表品種
宮崎県産「たまま」などのブランド名があるマルキンカン
マメキンカン(金豆)ナガキンカン
(ナガキンカン)
日本で主に栽培

新品種

「ぶちまる」「スウィートシュガー」など

キンカンのビミツ

名の由来

金色のかんきつであることからおせち料理「金冠」の暮らしがより豊かになるようにという願いが込められている

生薬として

金橘(キンキツ)
古くからせき止めや喉の痛みを抑えるなど風邪症状の緩和に利用

観賞用

鉢植え、庭木など
中国の広東省、香港などでは、旧正月に飾る習慣も

石田邦雄の
農業拾い読み 第46回

培おう……「コウモリの目」

(有)石田コンサルティングオフィス
代表取締役 **石田 邦雄**



令和5年が幕を開けました。組合員を初めJA職員、関係者の皆さん、明けましておめでとうございます。本年が旧に倍する、少しでも平和で安寧な一年でありますように。

さてJA十勝池田町ではその経営理念に「挨拶と笑顔」が強調されています。となると、何がなくとも「元氣な挨拶とこぼれる笑顔」はお互いの必須要件ともいえます。

ところでこうした発信をしながら、お恥ずかしい話ですが、かくいう私も今から50年ほど前の国鉄（現JR）職員時代にこんなことがありました。入社し3年目くらいの出来事になります。もう1人の同僚と一緒に駅長室に呼ばれよう説教

されたのです。「君達のその暗い挨拶と仏頂面を何とかしなさい」と。中学時代から教師に憧れ大学進学を目指し懸命に勉強。にも関わらず養子という家庭環境もありそれをあきらめる羽目に。夢であった教員の道は閉ざされ、そのうさをはらすかのように暇があれば朝から晩までパチンコ三昧。そんな私ですから、仕事はまさに「時間消化型」。おまけに「親方日の丸」的な職場風土をもろに受け、働

きがいなどはほど遠いものになっておりました。それから約20年後に予想だに

しなかったあの分割民営化です。それをきっかけに自営の道に進むことになりましたが、営業等においては「挨拶と笑顔」は不可欠です。お蔭でそれが自分を変えるきっかけになり今を迎えています。そのつたない体験を通じて経た教訓の一つが「人は変わろうとすれば変わる。変わろうとしないければ変わらない」です。そんな私が、今から20年ほど前から試験委員をしている「サービス・ケア・アテンド」という、ある民間資格があります。これは「あらゆるサービス接点における人的対応能力を備える人材」を認定する資格で、金融機関を初め多くの企業で導入されています。先日

も道内に数多くの店舗を有するスーパーにて資格更新研修をしてまいりました。この研修は資格取得をし3年毎に行われており今回は4回目。ということは、受講者はもうひと昔以上も前の方々になります。この資格のベースにあるのは「ユニバーサルサービスの実践」です。即ち、「あらゆる人の立場にたつて、公平な情報とサービスを提供すること」を初め、「年齢・性別・国籍・障がいの有無にかかわらず、互いの違いを認め合い、尊重し共生すること」：その為に必要な「配慮、気づき、心配り」ができる人材の養成が主な目的です。その為、単なる知識の習得のみではなく、障がい者に対する車椅子でのサポートや、アイマスクをつけての目の不自由な方達に対する模擬体験なども行います。中でも大切にしているのは、

月間行事予定

行事予定は変更になる
場合がございます

月日(曜日)	行 事 予 定
1 / 10 (火)	ホクレン育成市場、臨時監査 ヨーネ病5条検査(肉牛)～1/13
12 (木)	ホクレン乳牛市場
13 (金)	フレミズ講習会・新年会
16 (月)	ホクレン馬市場用ワクチン接種巡回
17 (火)	ホクレン肉牛市場(池田上場日) ヨーネ病5条検査(判定・確定検査)(肉牛)～1/18
18 (水)	ホクレン肉牛市場 女性部一日研修及び交流会～1/19
19 (木)	ホクレン肉牛市場(F1・池田上場日)
20 (金)	ホクレン肉牛市場(F1)、こだま会新年交流会
23 (月)	定期ヨーネ病検査・ワクチン接種巡回～1/24
30 (月)	ホクレン育成市場
2 / 2 (木)	ホクレン乳牛市場
7 (火)	中央会内部監査～2/10
8 (水)	池田町農村女性の日 みのり監査法人期中Ⅲ監査～2/10
10 (金)	ホクレン馬市場用ワクチン接種巡回

今月の1枚



**乾燥野菜
始めました!**

セイコーマートもぎたて市にて販売中です。
ぜひお買い求めください。

編

集

後

記

年末年始はいかがお過ごしですか。私は妹が里帰り中ですので、甥っ子と一緒に過ごしたいと思っています。

今月号からは、レイアウトが変わっております。みなさんお気づきでしたか? 昨年までは縦書き(右開き)でしたが、横書き(左開き)に変更することにいたしました。縦書きが広報の標準的な掲載方法ですが、PCやスマホの普及などにより世間も横書きの書籍が増えており、当JAでも横書きの記事が多かったことにより変更させて頂きました。「見やすい・読みやすい・分かりやすい」広報を目指して参ります。これからも組合員の皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

卯(うさぎ)年は、うさぎが跳躍する姿から「飛躍・向上」と言われており、新しことに挑戦するのに良い年とされているそうです。何か始めてみてはいかがでしょうか? 本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(鎌田)

理事会の動き

第10回

(令和4年12月22日)

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の資格変更について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 令和4年産豆類の集荷状況について
- (4) 共計品の精算について
- (5) 余裕金運用状況報告並びに保有目的区分について
- (6) 11月末基準仮決算について
- (7) 内部監査報告について
- (8) みのり監査法人期中Ⅰ監査報告について
- (9) 反社会的勢力排除対応管理先対応状況報告について
- (10) コンプライアンス事故報告について
- (11) コンプライアンスプログラムの取組状況について
- (12) 令和5年度新採用内定者について
- (13) 固定資産(高島センターホールローダー)の修繕等の取扱いについて
- (14) 理事に対する資金の貸付について
- (15) ㈱十勝高島牧場の経営状況等について

★ 議 案 ★

- (1) 組合員の出資金持分減口承認願について
- (2) 組合員の資格変動並びに出資金持分減口承認願について
- (3) 組合員の相続による持分譲受承認願について
- (4) 組合員の出資金持分譲渡について
- (5) 組合員の出資金持分譲渡並びに新規加入承認願について
- (6) 理事に対する資金の貸付について
- (7) 自治監査報告書について
- (8) みのり監査法人令和5年度監査報酬について
- (9) 令和5年度取り巻く情勢・基本方針について
- (10) 不良債権の処理方針について

★ 協 議 案 ★

- (1) 総会までの行事日程について
- (2) 令和5年度固定資産取得計画(案)について
- (3) 冬期地区懇談会の開催について
- (4) 農家経済特別対策チーム対応について
- (5) 年末組勘整理の見込みについて
- (6) 池田町農業委員会への農地価格基準の見直しに対する意見書について
- (7) 特定協議者の年末対応について